

平成30年度事業報告書
岩宇地区相談支援センター

社会福祉法人あけぼの福祉会

I. 相談支援事業の状況について

1. 相談支援町村別実績

	身体	知的	精神	発達	重身	障がい児	その他	合計	前年
岩内町	16	86	27	2	4	39	12	186	167
共和町	7	17	11	3	2	24	3	67	67
泊村	2	11	2	1	0	11	0	27	27
神恵内	0	1	2	0	1	2	0	6	4
その他	0	35	0	0	0	2	0	37	45
合計	25	150	42	6	7	78	15	323	310
前年	30	138	30	7	7	83	15	310	

※その他の地域 札幌市、小樽市、千歳市、島牧村、森町、蘭越町、黒松内町、京極町、石狩市、函館市、帯広市

2. 相談支援方法別実績

	身体	知的	精神	発達	重身	障がい児	その他	合計	前年
訪問	72	369	180	7	26	180	3	837	851
来所	9	90	54	8	10	94	11	276	315
同行	2	31	11	0	3	14	2	63	60
電話	109	221	220	7	102	177	20	856	1209
郵便等	2	59	8	0	33	16	0	118	77
関係機関	215	900	715	21	195	491	29	2566	2808
事務業務	43	412	114	13	38	215	2	837	804
その他	0	6	2	0	1	5	0	14	14
合計	452	2,088	1304	56	408	1,192	67	5,567	6,138
前年	536	2496	1312	84	288	1,390	131	6,138	

3. 計画相談件数

事業区分	特定相談	障がい児	合計	前年
利用計画	166	58	223	160
モニタリング	168	84	251	291
合計	334	142	476	451

4. 相談実件数

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
相談件数	3,390	3,638	5,636	6,138	5,567

Ⅱ・相談業務研修等の実施状況

開催年月日	研修名	開催地	参加職員
4月10日	後志協会定期総会	小樽市	I
5月11日	余市養護学校見学	余市町	K
5月14日～ 5月17日	行動援従事者護養成研修	札幌市	I
5月28日～ 5月29日	行動援護従事者養成研修	札幌市	H
6月4日	余市幸住学園見学	余市町	H
6月6日	合同会社チキサニ見学	札幌市	O、K
6月18日	地域移行支援連絡協議会	倶知安町	O
6月20日～ 6月21日	行動援護従事者養成研修	札幌市	H
6月27日～ 6月29日	相談支援専門員現任（更新）研修	札幌市	O
7月13日	札幌月寒MSブルー 江別・文京台ケアクレディ見学	札幌詩市	O
7月23日～ 7月25日	医療的ケア児コーディネーター養成研修 第1回	札幌市	K
8月1日	岩内町障がい児親の会施設見学	黒松内町	I
9月18日	発達支援関係職員実践研修	倶知安町	H
9月18日	コドモックル見学	札幌市	K
9月26日	小樽市笑こころ、マイウェイ見学	小樽市	O
10月11日 10月12日	医療的ケア児等コーディネーター養成研修 第2回	札幌市	K
10月29日	医療的ケア児コーディネーター養成研修 第3回	小樽市	K
11月16日	地域移行支援連絡協議会	倶知安町	O

11月19日	豊浜学園	余市町	O
12月11日	北海道権利擁護研修	札幌市	I
1月21日～ 1月22日	医療的ケア児コーディネーター養成研修 第4回	札幌市	K
1月30日	権利擁護・虐待防止研修	倶知安町	O
2月23日	精神障がい者地域移行研修会	小樽市	I
3月6日	後志自閉症研究委員会研修	小樽市	H、K

Ⅲ・岩宇地区自立支援協議会の活動状況について

1・全体会議

- ・平成31年3月20日実施

2・事務局会議

- ・4, 6, 8, 10, 12, 1, 2月実施

3・担当者会議

- ・5, 7, 9, 11, 1, 2月実施

4・岩宇地区自立支援協議会 講演会（岩宇4町村、岩内あけぼの学園共催）

①日時 平成30年10月11日

②場所 岩内高原ホテル

③講演内容

I・「福祉でまち作り」 月形町長 上坂隆一氏

II・「こども達の困り感に依り添う支援の手立て」 札幌すがた医院 中黒麗子氏

5・おしゃべりティータイム（障がい児親の会、協議会共催）

①日時 平成30年9月10日

②場所 岩内町地域交流センター内

6・障がい者支援関連協議会への出席

①後志地域相談支援連絡協議会

- ・4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 2月実施

②後志圏域地域生活支援連絡協議会

・6月、3月実施

③後志圏域就労部会連絡協議会「ワークしりべし」

・5, 2月実施

7・平成30年度の相談傾向について

○触法（軽犯罪等）に関わるケースが何件もあり、前科がある事で利用出来る福祉サービスがなく、住宅も審査が通らなく借りる事もできなかった。居住先が見つかるまで、ホテルで生活して頂き網走にある施設が受け入れ可能との事で、そちらに入居し現在は安定した生活を送っている。また、似た様なケースが何件もあり居住先の確保に困難を要した。虐待が疑われるケース等でも、やはり居住先や保護先がなく困難を要した。岩宇地区に緊急時受け入れ可能な居住や保護できる場所が必要不可欠であり、4町村に1カ所用意して頂けるよう協議会で検討している。

高齢者と障がいを持つ子どもの世帯の相談が多く、入院等で保護者が動けなくなり本人の兄妹や親戚がキーパーソンとして動いて頂くのが重要になってくる。他にも障がい福祉サービスの利用に繋がらず、自宅で親と暮らしている30代、40代の方々の相談が多くなってきている。周囲が必要と感じても、当事者や家族が必要を感じないとサービスの利用に繋げるのは困難であるため、時間をかけて関係性を築きながら関わる必要があった。

IV・不登校障がい児のひきこもり対策（地域貢献）について

平成27年度から実施しているひきこもりで不登校となった障がい児に対して、受け入れスペースを確保し、センターへ通うことで外出機会を作り、社会との接点作りや学習課題の提供等を行っており、今年度は2名の利用があった。